

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者の急変時における対応方法について、職員の資質が標準化されていない。特に、AEDの使用方法や心臓マッサージが挙げられる。	職員研修のカリキュラムに、AED使用方法と心臓マッサージを組み込み、全職員の資質の向上を目指す。	事故の防止と緊急時の対応についての研修内容に、AED使用方法や心臓マッサージを取り入れる。 日本赤十字社や消防署で実施される救命講習に、職員が参加できるよう推奨する。	5か月
2	35	災害時、2階や3階にいる利用者は、ベランダから消防署のはしご車で避難することも可能になっているが、実際にはしご車での訓練は実施できていない。	年2回の避難訓練において、うち1回は消防署のはしご車による避難訓練を実施する。	消防署に避難訓練の協力を依頼し、毎年6月実施予定の避難訓練において、はしご車を使用した避難訓練を実施する。	4か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。